鶴報

第２３９号
2019年12月20日

日本大学鶴ヶ丘高等学校　広報部
東京都杉並区和泉２－26－12
TEL　03−3322−7521（代）
http://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp

第66回鶴ヶ丘祭（空手道部 演武）

学　校　行　事　《 第２学期 》

９月２日　始業式・防災訓練
　　４日　３年センター試験説明会
　　５日　１・２年スタディーサポート
　　11日　１年文理適性検査
　　２年生徒対象修学旅行説明会
　　15日　３年特進コース・普通コース（希望者）
　　ベネッセ・駿台マーク模試会場受験
　　17日　生徒会役員選挙
　　18日　１年キャリアガイダンス
　　26日　３年基礎学力到達度テスト
　　28日　１年生徒・保護者対象進路説明会
10月１日　生徒総会
　　４日　日本大学創立記念日
　　５日　受験生保護者対象入試学校説明会①
　　７日　３年普通コース三者面談（～９日）
　　３年特進コース・普通コース（希望者）
　　ベネッセ・駿台記述模試
　　８日　２年中間試験（～11日）
　　15日　２年先発班修学旅行出発（～20日）
　　１年中間試験（～18日）
　　16日　２年後発班修学旅行出発（～21日）
　　22日　天皇即位礼正殿の儀に伴う祝日
　　30日　２年大学模擬講義
11月１日　体育祭
　　２日　受験生保護者対象入試学校説明会②
　　３日　３年特進コース・普通コース（希望者）
　　ベネッセ・駿台マーク模試会場受験
　　８日　１年・２年特進コース実力試験
　　９日　２年特進コース実力試験
　　１年保護者対象修学旅行説明会
　　13日　３年期末試験（～15日）
　　２年生徒対象進路説明会
　　16日　受験生保護者対象入試学校説明会③
　　19日　１・２年三者面談（～21日）・
　　3年特進コース三者面談（～21日）
　　22日　１・２年コース選択〆切
　　30日　受験生保護者対象個別説明会
12月５日　１・２年期末試験（～９日）
　　11日　答案返却授業（～12日）
　　13日　１・２年ポートフォリオ入力日
　　20日　終業式
　　23日　冬期外部特別講座（～28日）

第66回 鶴ヶ丘祭

鶴の遺伝子
～語り継がれる魂の先に～

2019年6月22日・23日

『鶴の遺伝子～語り継がれる魂の先に～』によせて

学校長　川原　容子

みなさまこんにちは。本日は、令和元年度第六六回鶴ヶ丘祭にご来場いただき、誠にありがとうございます。本年度のテーマは、「鶴の遺伝子～語り継がれる魂の先に～」です。

日本大学のNU祭のテーマ「NUDNA～受け継がれゆく一三〇年の意志」を受けて、今まで先輩たちが作ってくれた伝統を引き継ぎつつ、さらに自分たちの手で今まで以上に良いものをつくりたい意志を表したテーマです。

新元号となり、いよいよ日本大学が一三〇周年を迎え、本校は創設六十九年目を迎えます。

親大学から蒔かれた一粒の種である本校が、日本大学の教育理念である「自主創造」に加え「真剣力行」「和衷協同」の三校訓を掲げ、大きく発展できたことに改めて感謝するとともに、それぞれの歴史に少し触れたいと思います。

日本大学の祖である山田顕義（一八四四～一八九二年）は、松下村塾の門下生であり、吉田松陰の個性尊重の教育に基づき、協同・勤労精神を養っていきました。また、大村益次郎からは兵法を学び、のちに軍人としての才能も発揮していきます。初代司法大臣となり、若い法律学者とともに、彼らを全面的に支援した山田顕義を学祖とし、日本大学の前身である日本法律学校が一八八九年に創立されました。

本校は、一九五一年に日本大学農獣医学部（現在の生物資源科学部）の併設校として誕生しました。この昭和二十六年当時の日本は、戦後でアメリカの占領統治下にありました。その状況下で、先人の方たちが、鶴ヶ丘高校を発展させるために血のにじむような努力を積み重ねてくださったおかげで、現在の鶴ヶ丘高校の姿があります。

このそれぞれの伝統を学び伝えていく使命を、本年度は本校生徒一二六五名が、それぞれ引き継いでいます。併せて、戦後を乗り越えた「昭和」、大災害が相次いだ「平成」に続き、平和への願いが込められた「令和」と引き継がれていきます。その中にあって、教育の現場では、この社会や世界を良くしていくための役割が強く求められます。

日本の人と人との絆をとても大切にしてきた国民性は、世界も認めています。超高齢化・少子化となる課題先進国の日本だからこそ、このDNAを受け継ぎ、強い意志を持って、イノベーションを起こす要となる生徒たちに、多くのエールを送りたいと思います。

よき本校の伝統を守りながら、よりよい社会を創る為に、彼らと一緒に考えていきたいと思います。人の気持ちを慮る優秀な頭脳と、やわらかい心を持って……。

結びになりますが、この鶴ヶ丘祭開催にご協力くださったすべての方々に心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

NEW ERA NEW STYLE

生徒会指導部主任　磯崎　宏

令和元年度鶴ヶ丘祭は『鶴の遺伝子～語り継がれる魂の先に～』をテーマに六月二十二日（土）・二十三日（日）に開催されました。多くの来場者をお迎えし、楽しく賑やかに和やかに、クラス学年世代を越えた交流ができました。

今年のテーマは、先輩たちが培ってきた鶴高の遺伝子（良いところ）をさらに発展させていこうという生徒たちの熱い心意気・母校愛が表れたものとなりました。

新しい変化としては、ｉＰａｄを用いたクイズの出題、パソコンとプロジェクターによる映像制作など、模造紙からディスプレイへ、光と音の融合へと新時代を迎えました。

「和」や防災を意識した装飾、エコやＳＤＧｓへの取り組み、大学の模擬講義なども加わり、クラスや部、ステージ、有志の各企画において、生徒たちは大いに創造力を発揮し若さを爆発させて鶴ヶ丘祭を盛り上げました。

今後は、日本大学付属高校だからこそできること、地域や世界に発信していくことなども考えていきたいと思っています。来年度の鶴ヶ丘祭にご期待ください。最後に、鶴ヶ丘祭を支えてくださいました全ての方々に感謝を申し上げます。

裏方に終わる

三Ｄ　影山　颯大（石川台中）

結論から述べると、私の中での鶴ヶ丘祭とは決してみんな仲良く楽しかったなどという決まり文句で語れるものではなかった。いや、実際のところ概してみれば「みんな仲良く楽しかった」となるのであろう。だが、細かく見てほしい。表舞台に立つ人間がいるということは裏方だっているのだ。みんなは知っているだろうか、色とりどりの風車で飾られた中庭を誰が作ったのかを。門を誰が作ったのか、ステージは、パンフレットはどうだ。みんなのクラスの出し物で使うものなどを調べ、作業を円滑にしたのは誰だ。これらは全て実行委員や生徒会の仕事である。私がみんなの前に立ち、話をしたりできたのも他の役員や放送部のおかげであるだろう。今こそ私達は感謝せねばなるまい、鶴ヶ丘祭実行委員、生徒会役員、放送部、各委員会のみんなに。楽しかったみんなとの思い出、クラスの絆も深まった。そんな鶴ヶ丘祭の裏にはいつでも彼ら裏方の努力があるのである。ありがとう、おかげで今年も無事に終わった。

チームとして

二Ｋ　小杉　優斗（宮内中）

今回は『鶴の遺伝子～語り継がれた魂の先に～』というテーマで文化祭を作りました。このテーマには先輩たちが作り上げてきたものを土台として、今までにない文化祭を作り上げるという思いが込められています。私はいい文化祭を作ることができたと思います。なぜなら「誰かが頑張るからいいや」ではなくチームとして文化祭を作り上げることができたからです。私は委員長としてどうすればいいのか、などと悩むこともありましたが、それを抱え込まずに相談することにより新たな発想が生まれることが多くありました。それが楽しさにもつながりました。

委員長としての仕事はもう味わうことのできない最高の経験となりました。この文化祭が成功することができたのも各パートチーフをはじめ実行委員会のみんな、先生方、地域の方などのたくさんの協力があったからこそのものだと思います。本当に感謝しています。

令和元年度　第11回ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ「付属高校生のサマー・プログラム」体験記【令和元年７月18日～８月４日】

日本大学の学術交流提携校であるケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジにて、付属高校生を対象とした研修が行われました。参加生徒は同カレッジにて英語だけでなく歴史、文化、習慣についてなどの講義を受け、幅広い教養を身につけました。

ケンブリッジの思い出

２年Ｂ組　山田　朋孝（千歳中）

サマープログラムは、とても楽しいことばかりでした。一つ目は全国に友達ができたことです。自分たちの学校のことや進路のこと、その日あった出来事などを話しました。二つ目は学生アシスタントのプログラムが充実していることです。少人数に別れて行うときもあれば、大人数で賑やかに行うときもありました。プログラムには学生アシスタントの方も参加するので交流も深められて、友達とも有意義な時間を過ごしました。このサマープログラムでの経験は後の修学旅行にも役立ち、自分の勉強への意識を変えるきっかけとなりました。

ケンブリッジサマープログラム

２年Ｌ組　橘　明日香（渋谷本町学園）

行く前は不安で仕方がなかったし、研修が始まってすぐの頃は縮こまっていたが、このままではダメだと思い勇気を出して話しかけてみれば、学生アシスタントさんや先生方が私の拙い英語にも耳を傾けてくださったおかげで、英語での会話の楽しさを知ることができた。

ケンブリッジには長い歴史を持つ建物が多く、街を歩いているだけでとても楽しかった。各カレッジにある教会や城のような外観の建物、綺麗に整備された芝生など日本にいては味わえない異国情緒を肌で感じられた。フォーマルな場でのマナーやいい意味で自由な授業、人と人との距離感など日本とはまるで違う文化に触れられたことは自分の中でとても大きな財産になった。

オーストラリア海外語学研修【７月26日～８月16日】

７月26日から８月16日にかけて、Australia第３の都市 Brisbaneから北に30キロほどのRothwellにあるGrace Lutheran College Rothwell Campusにてオーストラリア海外語学研修が行われました。今年度は15名の生徒（男子２名、女子13名）が参加し、全日程を有意義に過ごし、全員が元気に帰国することができました。

平日、生徒たちはESLという非英語圏の生徒を対象としたクラスで英語を学んだり、現地校の日本語クラスに参加し日本語を教えたり、Buddyと共に現地校の授業に参加をしたりして過ごしました。それに加えて付属の小学校や日本とは全く規模も雰囲気も異なる老人ホームを訪問し、小学生やお年寄りに折り紙を通して交流を図りました。

週末はホストファミリーとともにゴールドコーストなどのビーチに行ったり、動物園にいきコアラやカンガルーを見たり、ホストファミリーに日本食を振る舞ったりと家庭毎に素敵な時間を過ごしたようです。また、今回はEKKAというオーストラリア最大の農業祭とも重なり、日本のどの祭りとも異なる独特の祭りを楽しむ機会にも恵まれました。

生徒たちは、様々な発表を英語で行う機会を通じて“自主創造”の精神を、慣れない土地、慣れない環境の中で常に目の前のことに真剣に取り組むことで“真剣力行”の精神を、また異国の地で生徒同士が協力しながら諸問題を解決していくことで“和衷協同”の精神を養いました。

さて、来年はGrace Japan Tourの年です。鶴高生の家庭にホームステイをする企画もあります。その際は是非、積極的に協力してください！

ニュージーランド海外語学研修【７月26日～８月18日】

今年度で７度目になるニュージーランド語学研修。11名の生徒で、New Zealand, Christchurchから西へ約180kmに位置する小さな田舎町Fairlieにある研修校Mackenzie Collegeへと向かった。Meeting Roomで待っていたHost Familyとの初対面から、最後の涙の別れまでの全日程を、全員で有意義に過ごすことができた。

英語の授業のみならず、現地校の授業や学校行事にも参加し交流を深め、日本との違いに驚くことばかりだった。学校を離れてのアクティビティーや週末のHost Familyと過ごす時間で、広大な土地、大自然の中で、東京ではできないこと、見られないものをたくさん経験した。初めは本場で話される英語の速さに付いていけずに戸惑っていたようであったが、Mackenzie Collegeの生徒とHost Familyとの英語漬けの生活の中で、その早さにも耳が慣れてきたようであった。また、なんとか伝えようとする積極的な姿勢こそが、英語で会話をする上で大切なのだと気付かされたようである。

心は言語（ことば）を越え、国境を越えるということを体感することができたことは、何事にも代えがたい。Fairlieという町が、訪れる場所から、帰る場所に変わっていた。その心の移ろいの中で、切なさの分だけ、包まれていた優しさの温もりに気付かされた。

彼らが得たこと、感じたこと、そしてNew Zealandでの全ての出逢いが、これらから歩む道で糧となり、世界で生きる１人としての礎となれば、この海外語学研修は過ごした時間以上に価値があるものとなる。星空を見上げる度にNew Zealandで過ごした日々を思い出し、彼らには『これから』を大切に過ごして欲しいと願う。出逢えた全てに、あの頃の自分に胸を張っていられるように。（研修内容の詳細は本校HPを御覧ください。）

オーストラリア短期留学【６月29日～９月21日】

オーストラリア短期留学記　　２年Ｈ組　岡村　夏希（砧南中）

私はこのオーストラリア短期留学を通し、辛い時に諦めない強さが身についたと思います。

小さい頃から海外に憧れていたため、今回のオーストラリア短期留学では、心から嬉しい気持ちになりました。そして、3ヶ月は一瞬で過ぎてしまいました。私は高校に通いだした頃、「この留学プロジェクトが終わるまでに友達と会話し、笑い合いたい。」という目標を立てました。

初めの頃は「聞き取る、話す」ことに全神経を使い、常に会話表現や単語の意味を細かく調べ、できるだけ自分の気持ちや、相手の気持ちを読み取るようにしていましたが、慣れない言語を聞くことに疲れてしまったり、上達しているという実感が湧かなかったりすると、不安で焦りを感じたこともありました。しかし、ホストファミリーの方々が私のつたない英語でもしっかりと受け止めてくれたことで私の不安は無くなり、前を向くことが出来ました。そして帰る日が近づいた頃には、友達と笑い合えるようになっていると実感しました。目標は達成できたのだと、ふと嬉しさが込み上げました。帰国して１ヶ月たった今思い返すと、この3ヶ月は本当に濃い思い出ばかりです。好きなことに一生懸命になり、辛くても諦めたくないと思うことがどれだけ自分の自信に繋がるか、このオーストラリア短期留学を通して本当に実感しました。本当に最高の3ヶ月を過ごすことが出来、心から感謝の気持ちでいっぱいです。また新しい目標を見つけ、目標に向かって諦めず頑張りたいと思います。

●全国大会出場記●

第六十六回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト「放送コンテスト（全国大会）出場」

二Ａ　豊島　心子（荻窪中）

昨年、私たち放送部が本広報誌で宣言した「十三年連続全国大会出場」という目標を達成することができました。

前哨戦である東京都大会では、アナウンス部門で豊島心子（二Ａ）、朗読部門で小林愛実（二Ｂ）、創作ラジオドラマ部門で稲垣晴香（二Ｍ）監督作品の『ＡＩにＡＩを』、テレビドキュメント部門で木澤りさ子（三Ｉ）監督作品の『黒丸葛藤』が決勝に進出しました。このうち創作ラジオドラマ部門の『ＡＩにＡＩを』が第１位（優勝）となり、全国大会に駒を進めることができました。

全国大会では、準々決勝を突破し、平成二十七年以来四年ぶりの準決勝進出となりました。残念ながら決勝には進出できませんでしたが、全国十一位相当（六百八十七作品中）の制作奨励賞を受賞しました。

私たち放送部は、これからも原点を忘れずに、よりよい形で作りたいものを作り続けて行きます。部員全員が次の大会に向けて新たな目標を設定し、日々活動しています。

来年は、「十四年連続全国大会出場」という報告ができるよう、部員一同精進いたします。引き続き応援よろしくお願いいたします。

令和元年度全日本高等学校ソフトテニス選手権大会「力の源」

三Ｄ　伊郷　太貴（清明学園中）

昨年に引き続きインターハイに出場することが出来たことを幸せに感じています。ソフトテニスを始めて七年が経った今、応援してくださった方々の支えがあったからこそ続けてこれたと思っています。

私が中学の頃はひたすら練習に打ち込む毎日で、厳しい部活でした。そんな中、顧問の先生から人間力というものを教わりました。常に感謝の気持ちを持ち、当たり前の事をしっかりすることで、応援される人間になるというのが目的でした。その言葉を掲げ、技術面、メンタル面が向上し、人としても成長することが出来ました。そして高校ではその経験を活かして、強豪校へは行かずに、自分で考えて活動する方を選択しました。しかし、それは難しく、悩んでしまい、投げ出したくなるような時もありました。しかし、大会になると友人や家族、そして嫌な顔一つせず応援に来てくれる部員達の姿が自分の背中を押してくれました。もう感謝しかありません。

インターハイの結果は一回戦で相手と一進一退の攻防で、最終ゲームまで行ったもの、マッチポイントを掴み取れず、初戦敗退となりました。ですがその憧れの舞台に立つことが出来たことを、とても嬉しく思っています。支えてきてくれた方々、そして相方にはこの場を借りて心から感謝しお礼申し上げます。ありがとうございました。

「伊郷と俺」

三D　木庭　直哉（深沢中）

私は七月二十七日宮崎県宮崎市生目の杜運動公園で二度目の全国大会を経験してきた。

東京都の予選では、去年インターハイを決める試合で戦った相手と同じ相手だったため、強い緊張感があった。ペアである伊郷としっかりと話し合い、作戦を立て、勝つことが出来た。とても嬉しく、それと同時に安堵した。ペアである伊郷は、私にはとても勿体ないくらい強い後衛で、間違いなく東京のトップだ。そんな彼は、私と二年間ペアを組んでくれた。「インターハイ予選で勝てたのは彼のおかげだ。インターハイでは、二人の力で勝ってみせる。」そんなことを思いながら宮崎へ向かった。

一回戦は絶対に勝ってやる、と心に決めて私はホテルの布団で目を閉じた。次の日、私たちは最高のコンディションで試合に臨んだ。体調と気温、天候は最高だった。私たちはその中で、大接戦の末、負けた。何が悪かったのかはわかない。ファイナルのデュースまで行くと、もう気持ちの戦いだと思う。気持ちが足りなかったのかもしれない。しかしそんなことを悔やんでも仕方ない。私は、伊郷や先生、親、影山、今までずっと協力してくれた人に感謝し、もうその協力も必要なくなると思うと、涙が出てきそうになった。伊郷ともう、ペアを組んで試合ができない、そんなことを考えたくなかった。ずっとテニスをしていたかった。しかし、引退だ。高校でのソフトテニスはここまでだ。伊郷と何度も試合をし、何度も負け、何度も勝った。引退してこの文章を書いていても思う。また試合がしたいと。大学ではみんな、それぞれの道があるのでできないと思う。この濃い三年間の高校でのソフトテニスを、私は忘れることは絶対に無いだろう。

第六十五回 全国高等学校演劇大会

「全国という大舞台」

三I　藤野　茜（お茶の水女子大附属中）

私たち演劇部は、今年の七月末に佐賀県の鳥栖市民文化会館で開催された、第六十五回全国高等学校演劇大会に参加しました。演目は『屋上の話』。顧問の村山大輔先生が執筆された作品です。

七月二十五日、私たちは佐賀へ飛び立ちました。宿はとても趣深く、女将さんが優しく歓迎してくださいました。次の日、リハーサルで初めて会場に入り、その規模の大きさにより一層の緊張が走りました。二十七日と二十八日は他校の上演を観劇しました。やはり全国大会とだけあって、どの高校も素晴らしく、目を奪われました。二十九日九時四十分、私たちは本番を迎えました。直前は全国大会という大舞台を前に皆緊張していましたが、部員同士で支えあい、いつも通りのパフォーマンスをすることができました。

演劇部は、全国に二千校以上あります。その中で全国大会に出場できるのはたった十二校です。本当に貴重な体験をすることができました。

私たちはどんな大会であっても、その日会場に足を運んでくださった目の前の観客を楽しませることを目標としています。その目標を最後まで追い続けることができ、とても良かったです。この経験を胸に、それぞれ飛躍していけたらと思います。

全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

「結果で恩返しを」

二M　橋本　夏実（東村山四中）

今回二度目となる全国大会に出場し、目標はメダルを取ることでした。試合当日にスタートリストを見たとき、選考時よりも他の選手の記録が伸びていて不安になりましたが目標を思い出し気合を入れました。試技はスナッチ・クリーン&ジャーク共に自己新記録に挑戦することは出来ましたが、以前より指導されているフォームの癖がでてしまい、挙げきれず、またしても四位に終わってしまいました。目標を達成することが出来ず、とても悔しかったですが頑張ったと思える部分もあり、今までで一番内容の濃い試合で楽しかったです。そして課題や目標が顕著になり、これからのモチベーションにもなりました。

今回の試合で改めて強く感じたことは、良い練習の積み重ねがとても大切だということです。良い練習が出来ると、練習後には達成感があり、その達成感の積み重ねが試合での自信に繋がるのだと思います。これからも周囲の人や環境への感謝を忘れず努力し、強くなって応援してくれる人や支えてくれる人に結果で返したいと思います。

全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会

「はじめての全国大会」

二F　小林　（三沢中）

私は六十七キログラム級でインターハイに出場しました。結果はスナッチ七十六キロ、クリーン&ジャーク一〇〇キロでいい記録ではありませんでした。しかし、初めての全国大会を高校二年生で経験することができ、三年生のインターハイにかける想いを間近で感じることができたのはとても良かったです。それと全国大会の緊張感は他の大会と比べものにならないもので、その圧に負けてしまいました。今年のインターハイはいい結果を残すことが出来ませんでした、来年のインターハイで今度こそいい結果を残して帰ってきたいです。

そのためにまず予選を勝ち抜き、代表に選ばれるように精一杯努力をしたいです。一番近い大きな大会としては関東大会があるので、まずはそこで勝ち、自信をつけて、来年のインターハイで今年の雪辱を果たします。

「緊張をわくわくに」

二F　田中　健太（十条富士見中）

私は、八月二日に沖縄県糸満市で開催された全国高校総体ウエイトリフティング競技大会に出場しました。初めての全国の舞台で最初は舞台の広さや観客の多さに驚き緊張しましたが、当日はその緊張もわくわくに変えて楽しむことができました。結果はスナッチ九十一キロ、クリーン&ジャーク一一六キロ、トータル二〇七キロで二十六位でした。スナッチとクリーン&ジャーク共に自己新記録を挙げることができたので良かったのですが、目標としていた重量には届かず悔いが残りました。インターハイには全国各地からとても強い人たちが来ており、その人たちの試合や試合に対する姿勢からは多くのことを学びました。私には来年もチャンスがあるので、今年の悔しさや経験を活かして、来年もう一度インターハイに出場し満足のできる成績を残したいと思います。

「仲間がいたから」

二M　蛯名　廉（落合二中）

私はウエイトリフティングを高校から始めました。最初は東京都で少しいい成績が残せればいいや、という軽い考えでいました。この競技は大体の人は高校から始めているということは知っていたけれど、全国大会まで行けるとは考えてもいませんでした。私がここまでこれたのには、仲間の影響が一番大きいと思います。練習では、毎回最後には歩くのも辛くなるまで追い込みます。もし私が一人だけで練習をしていたら絶対に自分を追い込めないで終わると思います。周りの仲間が一生懸命練習をし、大きな声で応援してくれたおかげで今でも自分に負けずに頑張れています。

今回のインターハイでは自分が思うような成績を残すことはできなかったけれど、周りの仲間も大会で頑張っている姿を見てこれからもっと練習しようと思いました。来年のインターハイでは何か結果を残せるような成績を叩き出したいです。

Enthusiastic Sports Day

生徒会指導部主任　磯崎　宏

令和元年度体育祭が11月１日（金）に日本大学生物資源科学部グラウンド（神奈川県藤沢市）で行われた。例年のアミノバイタルフィールド（飛田給）がラグビーワールドカップ開催のため使用できず、今年は広大な大学キャンパスを訪れることになった。昨年度は雨天のために体育祭が中止となったため、今年は絶対に実施したいという皆の願いが天に通じ、当日はさわやかな風が吹く中、元気いっぱいの鶴高生の声と笑顔があふれかえった。

遠距離のために９時半に集合して、午前の部は色別対抗大玉送り、１年台風の目、２・３年選択棒引き・騎馬戦、部活対抗リレー（パフォーマンス部門とガチレース部門）。

昼食後に応援合戦。赤白緑青の各色団が音楽とともにエールや踊りを含めたパフォーマンスを披露。

午後の部は綱引き、１年クラス全員リレー、２年大縄跳び、３年いかだ流し、２・３年色別対抗リレー。

クラスや学年のヨコのつながりと、学年を越えたタテのつながり、全校生徒と教職員約1,300名のまとまりを作る鶴高体育祭の熱気と躍動感を、生徒みんなで伝統行事として次年度にしっかりと受け継いでいってほしい。

体育祭を振り返って

2Ｈ　原田　陽平（東田中）

昨年の体育祭は雨で中止になってしまいとても残念でしたが、今年は天候にも恵まれて、晴天の下で体育祭を行うことができ、とてもうれしく思いました。今までアミノバイタルフィールドで行っていた体育祭も、今年は生物資源科学部の陸上競技場で、とても良い環境の中で開催できました。普段は味わうことのできないような大きく広々としたトラック、本当に最高でした。私は体育祭実行委員長として、大人数を静かにさせたり、まとめたり、動かしたりすることに苦労しました。しかし、他の実行委員の仲間と協力しながら、うまくまとめることができました。そしてこの体育祭を成功させる責任感など、普段ではないような経験ができ、とてもやりがいのある体育祭になりました。最後に、体育祭実行委員で裏方として大きく体育祭に貢献してくれた方、お疲れ様でした。そして、今回の体育祭に関わってくださった先生方、本当にありがとうございました。

第24回 校内スピーチコンテスト

令和元年６月８日（土）、本校多目的ホールに於いて第24回校内英語スピーチコンテストが開催されました。今年の参加者は２年生３名、１年生６名の計９名でした。各々が思い入れのあるテーマを題材に、４分間の英語スピーチに挑戦しました。以下はコンテストの結果です。

第１位　２Ｋ　河野　瑠凪（南生田中）
Returning Car licenses

第２位　１Ａ　髙坂　颯太郎（富士見丘中）
About the children's playground

第３位　１Ｉ　松尾　晃汰（調布四中）
My respect person

審査員特別賞　１Ｈ　長嶋　智葉奈（川口西中）
Let's create a better future together

第１位に輝いた河野さんは、令和元年度日本大学付属高等学校等第41回英語スピーチコンテストに、本校の代表として参加しました。Driving by the elderly and its problemというタイトルのもと堂々たるスピーチを披露した彼女は、見事第６位入賞（25校中）を果たしました。

広　報　室

〈異動（転出）〉

藤井（ふじい）　靖博（やすひろ） 事務課長

令和元年10月23日付で、日本大学文理学部教務課長に就任されました。

〈異動（転入）〉

小塚（こづか）　久美（くみ） 事務課員

令和元年７月１日付で、日本大学理工学部就職指導課から本校に着任されました。

黒崎（くろさき）　弘平（こうへい） 事務課員

令和元年10月１日付で、日本大学生物資源科学部富士自然教育センターから本校に着任されました。

野口（のぐち）　眞一（しんいち） 事務課長

令和元年10月23日付で、日本大学工学部会計課から本校に着任されました。

令和元年度　特待生・奨学生

七月十三日（土）に、本校図書館多目的ホールにおいて、今年度の日本大学特待生と、本校奨学生に対する授与式が保護者同伴のもと行われました。受賞者は以下の通りです。

受賞者氏名

日本大学特待生

三Ｂ　窪田　明日香（上石神井中）
三Ｆ　三井　花音（向陽中）
二Ｂ　難波　桃子（サンパウロ日本人学校）
二Ｆ　間山　琴美（文京九中）

日本大学鶴ヶ丘高等学校奨学生

◎第一種

三Ａ　髙橋　陽南（橘中）
三Ｅ　辺見　珠里（上野原中）
三Ｊ　白鳥　佑斗（東山田中）
三Ｊ　永野　優衣（烏山中）
二Ｌ　鈴木　蘭乃（向陽中）
二Ｌ　田村　伊央奈（中野二中）
二Ｌ　松島　風子（阿佐ヶ谷中）
二Ｍ　川住　伊代（品川学園）

◎第二種

一Ｄ　矢吹　羽崚（和泉中）
一Ｊ　西村　太陽（武蔵野東中）
一Ｋ　中島　快（松濤中）
一Ｌ　小川　悠翔（生田中）
一Ｌ　稲垣　幸大（芦花中）
一Ｌ　水野　泰樹（武蔵野四中）

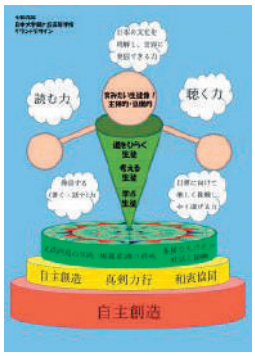
日本大学鶴ヶ丘高等学校英明奨学生

◎第一種

三Ｄ　岡島　純菜（芦花中）
三Ｇ　津田　藍香（深川五中）
三Ｊ　谷合　望々（由木中）
三Ｊ　山﨑　藍（代々木中）
二Ｇ　土谷　育生（南菅中）
二Ｍ　大西　倖生（芦花中）
二Ｍ　村田　瑞季（滝野川紅葉中）
二Ｍ　守谷　梓沙（調布六中）
一Ｉ　福地　泰亮（実践学園）
一Ｉ　松澤　憲吾（調布七中）
一Ｊ　露久保　大晴（川口南中）
一Ｋ　矢城　美南（笹塚中）

グランドデザインについて

３年Ｄ組　影山　颯大（石川台中）



私達生徒会役員はこれまで、この日本大学鶴ヶ丘高校のグランドデザインの新案を生徒によって作るため、茶ミットなどを通してグランドデザインについての理解を深めてきた。例えば私、生徒会長は全校生徒の前でグランドデザインとは何なのか、いったいどのような目的で作られたものなのか、そしてなぜデザインを刷新する必要があるのかを紹介してきた。実際に真剣に話を聞いていた生徒は数パーセントにも満たないかもしれないが、それでも誰か一人でも興味を持ってくれればそれだけで意味があると思った。そもそもグランドデザインというものは先生方が考えたものではあるが、生徒のためのものである。それならば生徒がデザインを考えるのも至極当然のことであろう。別にすべての生徒に作ってもらいたいというわけではない。意欲のある生徒だけで十分だ。その生徒が作成したデザインを全校生徒が見てくれさえすれば問題はない。今、ようやくデザインが正式に決まり、本校のホームページ、校長通信に掲載された。だが、これはまだスタート地点に過ぎない。これからはこのデザインをどのようにして生徒に広めるかが大事である。新デザインが完成したことすら知らない生徒が大半であろう。だから、私達生徒会役員はこれからもグランドデザインを広めるため、校長先生と協力しながら活動していく。

第52期 生徒会役員紹介

会　長　田村　隆太朗（二Ｊ・浅間中）

一年間、生徒主体となりながら新しい物事に挑戦し続けていきたいと考えております。「例年通り」という言葉に甘えず未開の地へ一歩踏み出していきましょう。私たち生徒会が先立ってアピールをしていくので、それに皆さんが呼応し、考えの変化が生まれていってほしいと思います。その先には各生徒が明確な意思もって学校を創り上げていく、そんな充実感の溢れる学校生活があると思いませんか。これを私は目指していきたいと考えています。

副会長　鈴木　源人（二Ｂ・西台中）

生徒の意見を取り入れた活動を目指します。前期生徒会役員としての経験を生かし、責任のある活動をしていきます。学校生活や学校行事をより充実させるために、積極的に活動を行い、良い伝統をつくっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

副会長　上水　華音（一Ｃ・文京六中）

鶴高の長きにわたる生徒会の歴史の中で最も印象深く最も生徒の声に耳を傾けるような役員になりたいと考えています。先輩方が今日までに築きあげてきた活動を引き継ぐだけでなく、新しいプロジェクトにも挑戦する心を常に忘れず、一つ一つの活動に精一杯取り組んでいきたいと思います。

書　記　阪井　京（一Ｃ・池袋中）

皆さんの学校生活の充実や発展、鶴高を今よりもよりよい学校にしていくために自分たちから積極的に活動していく生徒会にしていきたいと思います。例えば、多くの人の話を聞きに回って、今何が足りないのかを把握し、改善出来る道を模索していきたいです。生徒会役員である自覚と責任を持って頑張っていきます。

書　記　平井　六華（一Ｃ・松江三中）

前期は文化祭実行委員として仕事していました。これからは自分の仕事に責任を持ち、生徒の皆さんの声を取り入れ、新しいことにもどんどん挑戦していきたいと思います。さらに楽しく、素晴らしい学校生活が送れる学校にできるよう努力していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

会　計　藤春　織音（二Ｂ・国立三中）

去年生徒会役員としての仕事をしてきて変えていきたいこと、また新しくやりたいことが見えてきました。今年度はもっと楽しく過ごせる学校にできるよう全力で仕事をしていきたいと思います。よろしくお願いします。

会　計　藤村　優衣（一Ｃ・深川二中）

私は、公約でも言ったように、目安箱に集まった皆さんからの要望を実現する為、会計として、生徒のために生徒会費を運用したいと思っています。また、生徒会役員のメンバーとして、そして日鶴の生徒として、この学校を変えたいと思っています。一年間精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

第５位
伊郷　太貴
川口竜之介（２Ｃ・尾久八幡中）
石川　雄聖（３Ｉ・御園中）
松井　優成（１Ｃ・新座五中）
林﨑　良太（１Ｆ・深沢中）
木庭　直哉
鶴田　洋介
（３Ｈ・秋田大学教育文化学部附属中）
松永　拓也（３Ｂ・志村一中）
▽国体選手選考会最終選考（７/21）
Ａリーグ第２位
伊郷　太貴　　木庭　直哉
▽全国高等学校総合体育大会（７/26）
２回戦敗退
伊郷　太貴　木庭　直哉

■女子ソフトテニス部
▽全国総国体団体予選（６/９）
１回戦　本校４－１武蔵村山
２回戦　本校０－４武蔵野大千代田
ベスト８
▽国体選考会（７/14・15・21・22）
藤原　美月（２Ｊ・稲城三中）・
佐々木美々（１Ｉ・竪川中）
２次Ｃリーグ進出
▽城西地区大会（８/７）
藤原　美月・佐々木美々
ベスト16
▽東京私立高等学校学校対抗戦（８/12）
２部リーグ４位
▽東京私立高等学校選手権大会（８/13・14）
藤原　美月・佐々木美々　ベスト32
▽新人大会（８/20・21）
藤原　美月・杉野　海愛（２Ｃ・金井中）
ベスト64
▽普及大会（９/８）
ブロック優勝
折原　　舞（１Ｈ・深川五中）
小島　優采（２Ｌ・宮前平中）
後藤明果莉（２Ａ・戸越台中）
林　麻也子（１Ｈ・竪川中）
野口　芽里（２Ｋ・枡形中）
萩原　瑠果（１Ｅ・篠崎中）
▽第九支部大会（９/15）
第３位

■バドミントン部
▽インターハイ予選（男女団体戦）（６/２）
男女２回戦
▽夏季高校生オープン（男女団体戦）（７/29・30）
▽夏合宿（８/１～５）長野県佐久市　（女子　東信地区選抜と試合）
▽新人戦Ｉ部兼関東選抜予選（男女個人複）（８/14～19）４回戦
▽練馬区高校生大会（男女個人複）（８/18）
▽杉並区民祭高校生の部（男女個人単複）（８/23・25）
▽第九支部大会（男女団体）　男女第３位
▽新人戦Ｉ部兼関東選抜予選（男女個人単）（９/27・10/６）

■剣道部
▽インターハイ個人予選東京都予選（６/１）
女子個人　ベスト16
福本　光莉（３Ｇ・国分寺三中）

■空手道部
▽令和元年度第48回関東高等学校空手道大会（６/８～６/９　宇都宮市体育館）
女子個人形　出場
軍司　佳歩（３Ｃ・三鷹一中）
本校１－４ 横浜創学館（志村珠妃）
女子団体形　第５位入賞
軍司・田中・榎本・石野・
江副・矢田
本校５－０水城
本校３－２埼玉栄
本校１－４県立前橋工業
男子団体組手　出場
腰高・松永・笠原・佐藤・
明賀・小松
本校０－５花咲徳栄
女子団体組手　出場
軍司・石野・田中・江副・
太田・榎本・波多野
本校３－２日本体育大学柏
本校０－５東洋大学附属牛久

■ウエイトリフティング部
▽2019年度第52回関東高等学校ウエイトリフティング競技大会（６月１日 於：山梨県立日川高等学校）
男子67kg級　トータル141kg　17位
小林（２Ｆ・三沢中）
男子81kg級　トータル196kg　10位
蛯名　　廉（２Ｍ・落合二中）
男子89kg級　トータル197kg　８位
田中　健太（２Ｆ・十条富士見中）
女子59kg級　トータル148kg　２位
橋本　夏実（２Ｍ・東村山四中）
▽令和元年度第21回全国高等学校女子ウエイトリフティング選手権大会（７月20日～21日 於：長野県松本市 松本市総合体育館）
女子59kg級　トータル156kg　４位
橋本　夏実
▽令和元年度第66回全国高等学校ウエイトリフティング選手権大会（７月30日～８月２日 於：沖縄県糸満市 西崎総合体育館）
男子67kg級　トータル171kg　53位
小林
男子81kg級　トータル196kg　39位
蛯名　　廉
男子89kg級　トータル207kg　26位
田中　健太
▽第63回関東ウエイトリフティング選手権（８月17日～18日 於：千葉県立松戸国際高等学校）
男子67kg級　トータル180kg　６位
小林
男子81kg級　トータル193kg　６位
蛯名　　廉

■放送部
▽第66回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト東京都大会（予選６/２、決勝６/16）
【創作ラジオドラマ部門】
優勝　ＡＩにＡＩを
制作代表：稲垣　晴香（２Ｍ・生田中）
※全国大会出場
【テレビドキュメント部門】
第６位　黒丸葛藤
制作代表：木澤りさ子
（３Ｉ・南六郷中）
▽第66回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト全国大会（７/22～25）
【創作ラジオドラマ部門】
制作奨励賞（11位相当）
ＡＩにＡＩを
制作代表：稲垣　晴香（２Ｍ・生田中）

■情報部
▽明星大学オープンキャンパス（７/28、８/４）
プログラミング体験教室参加
▽グランドデザイン作成（10/５）

■英語部
▽神戸女学院大学 第10回絵本翻訳コンクール
▽東京2020高校生英語スピーチコンテスト
主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020組織委員会）
秋和美有紀（２Ｃ・松沢中）
伊藤　梨花（２Ｆ・葛西二中）
小泉あい菜（２Ｆ・日吉中）
堺　　麻結
（２Ｆ・東京学芸大小金井中）
太田　胡桃（１Ｄ・柏葉中）

■演劇部
▽第43回全国高等学校総合文化祭演劇部門（７/27～29）
顧問作「屋上の話」優良賞受賞
佐賀県鳥栖市民文化会館で上演

■吹奏楽部
▽第59回東京都高等学校吹奏楽（８/13）
コンクールＡ組銅賞
▽校内アンサンブルコンサート（９/29）
▽第11回杉並納税街頭キャンペーン（10/27）

■バトントワリング部
▽令和元年８月「ふるさと和泉みんなの夏祭り2019」演技披露
▽令和元年８月東京都バトン協会バトントワーリングコンテスト大田区大会
入門・初級・中級
金賞・銀賞・銅賞受賞
渡部　瑞生（２Ｈ・大和市立光丘中）
中級金賞受賞
▽令和元年10月杉並納税街頭パレード参加
▽令和元年11月日本大学商学部砧祭パレード参加

■茶華道部
▽鶴ヶ丘祭華道展示・茶会（６月）
▽陶芸実習北鎌倉明月窯（７月）
▽いけばな嵯峨御流免状取得（８月）
中伝
奥川　詩織（３Ｊ・渋谷本町学園）
高桑芽萌里（３Ｃ・鹿骨中）
田中　春名（３Ｉ・金子中）
布川　佳奈（３Ｇ・長沢中）
森山　実優（３Ｃ・貝塚中）
吉田　星子（３Ｆ・東深沢中）
入門・初伝
高澤　萌奈（２Ｆ・武蔵野二中）
三宅　唯衣（２Ｍ・鶴川二中）
▽杉並区総合文化祭華道展　作品展示（９/29、30）
高澤　萌奈
三宅　唯衣

■料理部
▽１年生歓迎会（４/22、25）
▽日本大学自主創造プロジェクト（６/１、７/13、９/14）
▽料理検定２級、３級受検（10名合格、６/８）
▽文化祭（６/22、23）チョコパイ販売、料理部考案ＴＦＴお弁当販売（249食販売）
▽お弁当販売の売り上げの一部（4,980円）と募金（1,471円）をTable For Twoに寄付（７月）
▽生物資源科学部　Highers☆との共同コラボ　食品開発及び食品加工実習（７/11、18、８/１、19）
▽小学生とお菓子作り@日本大学藤沢小学校（８/27、30）

部活動報告

■スキー部
▽夏季プラスノー遠征
（８/20～８/22　於：丸沼高原スキー場）

■水泳部
▽杉並区民大会（９/１）
女子総合　２位
▽第九支部水泳競技大会（９/16）
女子総合　１位
▽東京都高等学校新人戦大会（９/21～22）
200m個人メドレー 16位 ２.18.43
石井　温人（２Ｃ・両国中）
400m自由形 12位 ４.43.35
若尾　咲良（１Ｇ・三原台中）
100m背泳ぎ 16位 １.12.40
内田　好（２Ｆ・三鷹一中）
女子400mフリーリレー 13位 ４.13.47
（若尾、角谷、大沼、内田）
▽東京都長水路記録会（９/28）
200m個人メドレー ９位 ２.17.23
石井　温人
100m自由形 ８位 １.01.67
若尾　咲良
100m平泳ぎ 16位 １.24.56
角谷　夏望（２Ｌ・井草中）
女子200mフリーリレー ６位 １.56.00
（若尾、角谷、大沼、内田）

■陸上競技部
▽令和元年度第48回東京高体連陸上第４支部陸上競技１年生大会
▽令和元年度第48回東京高体連陸上第４支部学年別陸上競技大会（６/８、９）
男子100m　予選11.43　準決勝11.46
長谷川　由（３Ｆ・調布中）
男子100m　予選11.76　準決勝11.57
内田颯一郎（２Ｅ・平戸中）
男子1500m　決勝４.12.79　２位入賞
櫻井　晴（２Ｅ・玉川中）
男子1500m　決勝４.26.69　８位入賞
野澤　雅治（２Ｂ・南浦和中）
男子5000m　決勝17.12.45　６位入賞
小川　晃生（３Ｄ・狛江二中）
男子走幅跳　決勝６ｍ12　１位入賞
髙橋　陽南（３Ａ・橘中）
男子三段跳　決勝12m 88　３位入賞
髙橋　陽南
女子100m　予選14.24　準決勝14.31
常富　琴水（１Ｄ・砧中）
女子100m　予選13.63　準決勝13.48
決勝13.63　８位入賞
阿部　百花（２Ｇ・緑丘中）
女子400m　予選１.05.08
決勝１.03.86　５位入賞
矢部　恵子（２Ｅ・上板橋三中）
女子1500m　５.15.80　４位入賞
簑口　優奈（２Ｂ・生田中）
女子1500m　５.17.57　６位入賞
河邊　咲（３Ｊ・板橋三中）
女子3000m　11.44.93　６位入賞
吉野　萌（３Ｈ・姪浜中）
▽第40回東京都高等学校選抜陸上競技大会（７/13、14）
男子三段跳　決勝13m 52　６位入賞
髙橋　陽南
▽令和元年度 東京都高校新人大会第４支部予選会（８/31、９/１）
男子100m　予選11.74　決勝11.87
内田颯一郎
男子800m　予選２.08.21
決勝２.12.22
辻井　亮羽（２Ｍ・南中山中）
男子800m　予選２.07.21
決勝２.07.67
野澤　雅治
男子800m　予選２.08.77
決勝２.07.97
後藤　遼太（１Ｄ・銀座中）
男子1500m　予選４.26.53
決勝４.12.18　４位入賞
櫻井　晴
女子100m　予選13.５
決勝13.42　４位入賞
阿部　百花
女子200m　予選27.05
決勝26.94　４位入賞
阿部　百花
女子400m　予選１.02.81
決勝１.02.68
矢部　恵子
女子800m　予選２.38.89
決勝２.34.01
川住　伊代（２Ｍ・品川学園中）
女子1500m　予選５.33.20
決勝５.29.48
簑口　優奈（２Ｂ・生田中）
４×100ｍＲ　53.30　８位入賞
（樋口・常富・矢部・阿部）
▽第62回 東京私立中学高等学校陸上競技選手権大会（８/21、22、23）
男子1500m　予選４：14.58
決勝４：08.73　１位入賞
櫻井　晴
▽第71回東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会（９/21、22、23）
男子1500m　予選４：11.68
櫻井　晴
女子100m　予選13.46
阿部　百花
女子200m　予選28.08
阿部　百花
４×100ｍＲ　失格
（樋口・常富・矢部・阿部）

■野球部
▽第101回全国高等学校野球選手権 西東京大会
７/10　２回戦　本校10-１東大和高校
７/16　３回戦　本校11-１福生高校
７/17　４回戦　本校２-０日大二高校
７/20　５回戦　本校５-３府中西高校
７/23　準々決勝 本校１-10東海大菅生
結果：西東京大会ベスト８
▽秋季東京都高等学校野球大会一次予選
９/７　１回戦　本校６-２都立武蔵
９/14　２回戦　本校５-０正則学園
▽秋季東京都高等学校野球大会
10/19　１回戦　本校２-４関東一高

■女子バスケットボール部
▽Ｒ１年度夏季大会
８/18（日）　本校33-69大森学園高
▽Ｒ１年度日本大学体育大会バスケットボール競技
９/10（火）　予選Ｃリーグ
本校22-26日大山形高
本校22-21千葉日大一高
順位決定トーナメント
本校72-42土浦中等教育学校
（＋土浦日大３年）
９/11（水）　順位決定トーナメント
本校54-42日大明誠・東北高
（合同チーム）
本校36-68日大二高
※結果、17チーム中10位
▽Ｒ１年度東京都私学第９支部競技会高校女子バスケットボール競技
９/15（日）
本校30-32立教女子学院高
本校26-28宝仙学園高
９/16（祝）
本校11-19日大二高
本校22-20杉並学院高
※結果、予選リーグ敗退

■男子バレーボール部
▽インターハイ予選（６/９、６/16）
１回戦　本校２-０駒込
本校２-０学芸大附
２回戦　本校２-０早稲田
３回戦　本校２-０東京成徳
４回戦　本校０-２成城
▽第九支部大会（８/16）
第１試合　本校０-２専修大附
第４試合　本校０-２明大中野
第６試合　本校０-２東京立正
▽私立中高バレーボール大会（８/19）
２回戦　本校２-０学習院
３回戦　本校０-２成城
▽杉並区民大会
本校Ｂ１-２日大二
本校Ｂ０-２中大杉並Ｂ
本校Ａ０-２中大杉並Ａ
本校Ａ０-２東京立正
▽日本大学体育大会（８/27、８/28）
予選グループ
本校０-２長野日大
本校０-２日大三
本校０-２ 千葉第一
決勝トーナメント
本校０-２日大
結果　第13位
▽全日本選手権大会一次予選（９/１）
１回戦　本校２-０多摩工
２回戦　本校０-２錦城

■女子バレーボール部
▽インターハイ予選（６/９）
本校２-０久留米西
本校２-０国際
本校０-２王子総合
ベスト64
▽私学夏季大会（８/14）
本校２-０頌栄女子
本校２-０東洋大京北
本校０-２日体大桜華
ベスト64
▽夏季大会（８/17、18）
本校２-０八王子
本校２-１江東商
本校０-２文京
ベスト64

■アメリカンフットボール部
▽東京都秋季大会兼第50回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会予選
１回戦　９/１（日）シード
２回戦　９/８（日）シード
３回戦　９/15（日）@日大鶴ヶ丘Ｇｒ.
本校41-７明治学院東村山
４回戦　９/22（日）@早大東伏見Ｇｒ.
本校 ７-41足立学園
東京都ベスト８

■男子ソフトテニス部
▽関東高等学校ソフトテニス選手権大会（６/１）
ベスト32
伊郷　太貴（３Ｄ・清明学園）
木庭　直哉（３Ｄ・深沢中）
▽全日本団体選手権大会２次予選（６/９）

第66回 鶴ヶ丘祭
2019年6月22日・23日

鶴の遺伝子 ～語り継がれる魂の先に～